

研究実施のお知らせ

2025年9月7日 ver.1.0

研究課題名

アナフィラキシーの原因物質確定のために有用な検査法の後方視的検討

研究の対象となる方

2010年4月から2025年3月の間に島根大学医学部附属病院でアナフィラキシーと診断され、皮膚テストまたは負荷試験またはアレルギー検査の採血を受けられた患者さんを対象とします。

研究の目的・意義

アナフィラキシーの原因が食物やハチ毒の場合は血液検査の一つであるアレルゲン特異的 IgE 検査が参考となります。確定診断には十分でないことが多いのが現状です。また薬剤についてはアレルゲン特異的 IgE 検査が存在せず、被疑薬ごとに適切な診断を行うための検査法の確立が必要です。血液検査の一つである好塩基球活性化試験でも確定診断が困難な症例もあり、皮膚テストや負荷試験の実施によって確定診断に至る症例が多数存在します。本研究はアナフィラキシーにおける被疑物質を用いた皮膚テストまたは負荷試験の結果やアレルギーの関する血液検査の結果の一致率などを後方視的に明らかにして、アナフィラキシーの原因物質と有用な診断法について検討することを目的としています。本研究にて、生体を使用する検査ではなく血液を用いた検査でアナフィラキシーの原因物質と原因物質別の有用な診断が可能な項目が分かれば、生体を使用するアナフィラキシー再燃の危険性や時間を回避することが可能となり、診断上有意義と考えられます。

研究の方法

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、カルテ内の既存情報のみを用いて実施する学術研究です。

- 利用する情報の項目（診療記録：年齢、性別、血液検査の結果、皮膚テストの結果、負荷試験の結果および最終的に診断したアナフィラキシーの原因物質）

- 利用する情報の取得の方法：本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

- 研究対象者の個人情報の取り扱い：調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られ

たりするなどのご迷惑をお掛けすることはございませんのでご安心ください。

研究の期間

2025年11月20日～2027年12月

なお、利用停止のお申し出は、2026年3月までにお願いいたします。

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部皮膚科学講座 千貫祐子

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといったお申し出は2026年3月までにお願いいたします。この時期を過ぎますと解析を開始する予定ですので、その後はご要望に沿うことは困難となりますのでご了承ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生じることはありません。

相談・連絡先

研究の内容を詳しく知りたい場合、また研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合はお申し出ください。

研究責任者：

島根大学医学部皮膚科学講座 千貫祐子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2210 FAX 0853-21-8317